

各高等学校長 様

千葉県高等学校教育研究会
数学部会部会長 齋藤 茂
(公印省略)

平成28年度千葉県高等学校教育研究会数学部会総会・春季研究大会の
開催について(依頼)

このことについて、下記のとおり開催いたします。
つきましては、貴校関係教諭の派遣について格別の御高配をお願い申し上げます。

記

1	主 催	千葉県高等学校教育研究会数学部会
2	後 援	千葉県教育委員会
3	期 日	平成28年6月16日(木)
4	会 場	千葉県立成東高等学校 100周年記念館 (山武市成東3596)
5	日 程	受付(弁当注文) 9:00~ 9:40 公開授業(2限) 9:45~10:30 総 会 10:45~11:40 連絡事項 11:40~11:50 昼食・休憩 11:50~12:50 研究発表 12:50~13:50 講 演 14:00~15:30 研究協議 15:30~16:00 閉 会 16:00

6 内 容

(1) 総会

- ① 挨拶(部会長, 教育委員会, 会場校校長, 会場校数学科主任)
- ② 議長選出
- ③ 議事 ア 平成27年度事業報告
イ 平成27年度収支決算報告, 監査報告
ウ 会費等の一部改定について
エ 平成28年度事業計画案審議
オ 平成28年度予算案審議
カ 平成28年度地区委員選出及び部会長推薦, 会計監査承認
キ その他の役員委嘱
ク その他

(2) 研究発表

- ① 「平成28年度大学入試センター試験(数学)のアンケート調査結果について」
千葉県立柏の葉高等学校 安田 学 先生
千葉県立安房高等学校 粕谷 真由美 先生
- ② 「『わかる授業』の実践を目指して」
千葉県立船橋法典高等学校 牧 伸裕 先生

(3) 講 演

演 題 「社会の諸課題を解決する数学」
講 師 東京大学先端科学技術研究センター教授 西成 活裕 先生
(講演の詳細については別紙参照)

7 参 加 費

1名あたり2,000円(当日受付にて納入してください)

8 その他

(1) 参加申込方法

別紙のファクシミリ送付票をFAXにより、平成28年6月3日(金)までにお願ひします。電話での申し込みは御遠慮ください。

申込先	千葉県立船橋高等学校内 千葉県高等学校教育研究会数学部会事務局 篠崎 健太郎 宛 FAX 047-426-0422
-----	--

尚、平成28年度千葉県高等学校教育研究会数学部会総会に出席できない場合は、別紙のファクシミリ送付票の委任状の欄に、学校番号、貴校名および貴校数学科主任の御名前を記入して送付してください。(押印の必要ありません。)

- (2) 昼食を注文することができます。希望の有無をファクシミリ送付票に御記入ください。希望された方は当日受付時に、代金をお支払いの上、引換券をお受け取りください。ファクシミリ送付票で注文されても、受付時間終了時(9時40分)までに間に合わない場合は注文を取り消しますので御了承願ひます。
- (3) **会場校には、駐車場がありませんので車での来校は禁止します。**電車・バス等を御利用ください。また、敷地内は全面禁煙です。御協力をお願いいたします。
- (4) 会場案内図及び交通機関



【交通機関】

- ・ JR総武本線 成東駅より徒歩25分
JR外房線 成東行 千葉7:33→成東8:22
JR外房線 成東行 千葉8:00→成東8:47
JR総武本線成東行 千葉8:04→成東8:58
- ・ JR成東駅からバス利用の場合(注:1時間に1便のみ)
ちばフラワーバス千葉駅行
成東駅9:08→成東高校前9:12 (バス停より徒歩3分)
- ・ JR千葉駅からバス利用の場合(注:有料道路利用のため満席時は乗車不可)
フラワーライナー成東車庫行
千葉駅7:50→成東高校前8:50
千葉駅8:25→成東高校前9:25

部会では、編集委員、研究委員を募集しています。希望される方は、ファクシミリ送付票に記入してください。

また、研究大会の発表者、部会誌の原稿を募集しています。発表または寄稿を希望される方は、下記の委員まで御連絡ください。

- ・ 研究大会の発表 …… 研究委員長 千葉県立千葉高等学校 荒武 亜美
- ・ 部会誌の原稿 …… 編集委員長 千葉県立薬園台高等学校 田口 亜紀子

演 題 「社会の諸課題を解決する数学」

講 師 東京大学 先端科学技術研究センター・教授
にしなり かつひろ
西 成 活 裕 先生

東京都生まれ。東京大学大学院工学系研究科博士課程修了，工学博士。

専門は数理物理学。中でも，車，人，インターネットなどの流れに生じる「渋滞学」やビジネスマンから家庭の主婦の生活にある無駄を改善する「無駄学」を専門とし，学術的なフィジカルレビューレーターズ（世界最高権威の米物理学専門誌）などに論文掲載を多数行っている。その中でも著書の「渋滞学」は講談社科学出版賞と日経BPビズテック図書賞を受賞し，話題となる。

内閣府イノベーション国際共同研究座長，中央教育審議会初等中等教育分科会委員，また文部科学省「科学技術への顕著な貢献 2013」に選出される。ムダどり学会会長。

現在は，「ストレスや渋滞そして無駄のない社会づくりに貢献したい」という思いのもと執筆活動だけではなく，日本テレビ「世界一受けたい授業」をはじめ，メディアへの出演や講演活動を行い，一般の人にも分かりやすく伝えている。



著 書

「渋滞学」，「無駄学」，「誤解学」

（新潮選書 2006，2008，2014，渋滞学は講談社科学出版賞受賞）

「思考体力を鍛える」（あさ出版 2011）

「とんでもなく役に立つ数学」（角川ソフィア文庫 2014）

「とんでもなく面白い 仕事に役立つ数学」（日経BP社 2012） 等

講演の概要（西成先生の言葉より）

近年，産業界の諸課題を解決する手段として，数学が大きく注目され始めてきた。こうした流れは数学の教育法も変えてきており，今や新しい数学の時代を迎えつつあるといえる。このような時代において，数学を学ぶ意義とは何だろうか。将来役に立つから勉強しているという人もいる一方で，役に立たないから興味が持てない，という人もいる。また，知的好奇心を満たすためだけに学ぶ人も多い。実は，役に立つから立たないかは考え次第であり，全く役に立たないものは存在しないと言える。

そこで，講演ではどのように数学教育を進めていけばよいかについて，これまでの自らが関わった具体例などを紹介しながら考えていきたい。